

東日本大震災 視覚障害被災者 支援ネットワーク インタッチ インタッチ・レポート 2011.4.1 No.2

【発行】

東日本大震災 視覚障害被災者

支援ネットワーク インタッチ

〒530-0057 大阪市北区曽根崎1-3-15

TEL 06-6311-1735~38 FAX 06-6311-1743

URL <http://www.jbs.or.jp>

編集・製作

川越 利信・東 大悟・金田 直樹・竹田 幸代・海老澤 弥生

第一次調査報告

視覚障害者の被災状況

岩手県宮古市沿岸部

視覚障害被災者支援ネットワーク「インタッチ」は、3月20日から4日間、岩手県宮古市沿岸部に第一次調査隊を送り出した。宮古市沿岸部の視覚障害者の被災状況を調査すると同時に今後の支援活動の在り方を探った。

20日、秋田経由で盛岡に入る。午後、岩手県立視覚障害がい者センター、岩手県視覚障害者福祉協会、県庁（保健福祉部）、大阪府・和歌山合同現地対策本部で岩手県全域と宮古市の状況を調べる。

21日、開通したバスで宮古市に向かう。駅前付近は停電で、電話も不通だが、被害は軽い。しかし駅よりも少し東側（沿岸部）は、光景が極端に異なり、惨状が広がる。いたる所に車や船と倒壊した家が瓦礫の山を築き、連なっている。埃が舞い上がり、異臭の漂う危険な道を徒歩で避難所へ向かう。重い荷物が肩に喰い込む。自衛隊員の人たちが懸命で道路を確保している。復興作業関係者のほかは、人はまばら。涙をこらえながら、「ご苦労さまです」、出会う人びとに声を掛け合いながら避難所を探し歩く。

宮古市によると、3月31日現在の同市の被災状況は、死亡者数が362人、行方不明者が1,301人、避難者数が4,641人である。

宮古市在住の視覚障害者数は、178人（岩手県保健福祉部統計、平成23年3月31日現在）。内、安否確認ができていないのは11人。

左記の統計は、岩手県視覚障害者福祉協会、宮古市社会福祉協議会、岩手県立視覚障害がい者情報センターの協力で、インタッチがまとめたもの。

障害者の状況(3月31日現在)

岩手県域の障害者数 56,097人
 岩手県域の視覚障害者数 4,591人
 内、視覚障害者福祉協会会員数 320人
 内、推定被災者数(沿岸部被災地在住者) 74人
 内、安否確認者数 50人(67%)
 宮古市域の障害者数 2,462人
 宮古市域の視覚障害者数 178人
 内、安否確認者数(会員8人、非会員3人) 11人(6%)

岩手県沿岸部の視覚障害被災者の状況(3月31日現在)

地域	会員数	安否確認
久慈市	3人	3人
宮古市	12人	8人
釜石市	28人(内、大槌町3人)	20人
大船渡市	30人(内、高田市8人)	19人
その他	1人	0人
計	74人	50人(67%)
盲学校卒業生等の非会員・安否確認者数		17人
把握安否確認者数 合計		67人

災害時要援護者台帳の活用

宮古市保健福祉部によると、災害時要援護者の台帳に基づく支援活動は、現状(3月25日現在)では、活用されていない。平成23年4月1日以降、随時、民生委員および自主防災組織に台帳および市内で有する情報を提示する予定。

行政、機能不全(3月22日現在)

宮古市役所の1、2階は津波で損壊しており、使用不可。停電中で、オンラインも停止中。行政機能が不全状態で、安否確認等の災害対策に対して手の施しようがなく、お手上げ状態。

3月26日現在 26日に本庁舎の電気が全館、復旧。コンピューターも作動。

支援物資

折りたたみ式の白杖や音声体温計、携帯カイロ等、持参した若干の物資は、宮古市保健福祉課に一部を、残りはインタッチ現地対策本部(岩手県視覚障害者福祉協会)に保管中。



支援物資より一部を被災地へ

第一次先遣隊 写真レポート

岩手県沿岸部 宮古市



上:3月20日 畑は雪に覆われていた。
右:21日盛岡から山越えて宮古へ向かう。
山も谷川もまだ厳しい真冬。



最前線盛岡にはたくさんの外国人ジャーナリスト
が集まっている。伊丹から秋田に向かう機内で
知り合ったスペインのテレビ記者。



インタッチの現地対策本部がある
(社福)岩手県視覚障害者福祉協会。



岩手県庁の保健福祉課で安否確認のための意見交換中のインタッチスタッフ。



宮古駅近くの商店街も大きな被害を受けた。歩道はむしろ危険で障害者や高齢者が通れる状況ではない。



宮古市役所。1、2階が損壊。停電中でオンラインもストップ。敷地には船が転がっている。



自衛隊員が懸命に道路を確保している。

岩手県宮古市の被災状況

死亡者	364 人
行方不明者	1,301 人
避難者数	4,815 人
(毎日新聞 4月1日)	



住まいがあった所か、茫然と佇む女性。



危険な瓦礫の山を横に見ながら進む
インタッチの第一次先遣隊。



避難所で、視覚障害被災者と
そのお母さん。



岩手県庁8階に設置された大阪
府・和歌山県合同支援対策本部。



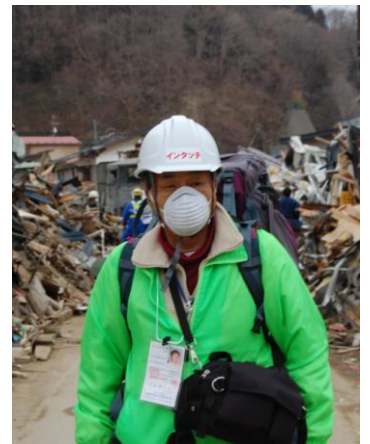
怖い、寂しいと語る視覚障害者。



避難所の仮設トイレ。寝起きしている所から離れて
いて、高齢者や視覚障害者には非常に不便。



インタッチのスタッフ
(金田 直樹)



インタッチのスタッフ
(川越 利信)

現地からの要望

現地の視覚障害被災者から、次のような視覚障害者用具のニーズが届いています。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

1. 拡大読書器
2. ルーペ
3. 電磁調理器
4. 点字タイプライター
5. 音声時計



お問い合わせは、インタッチ事務所まで。

06-6311-1735~38

支援ネット インタッチ 協力団体名

(平成23年3月31日現在)

JBS日本福祉放送(社福)視覚障害者文化振興協会

(社福) 岩手県視覚障害者福祉協会

NPO法人 マイライフ・ステーション協会

NPO法人 神戸アイライイト協会

ファーストウィンドの会

NPO法人 六星

兼藤産業株式会社

URO電子工業株式会社

今後も他支援団体と情報交換を密にし、ネットワークによる効果的な支援活動を目指します。

ツイッター、始めました!

@intouchJBS

視覚障害被災者の支援につながる情報の広場です。支援情報、待っています!

ツイッター内「intouchJBS」を検索下さい。

ご支援・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

敬称は省略させていただきます。(平成23年4月1日現在)

支援活動でご協力下さった方々

キャノンシステムアンドサポート株式会社 大阪北営業所
 村上 美文 (株)USEN)
 株式会社 シュール
 株式会社 バズ
 大島 洋一
 谷本 榮一
 株式会社 イール・トウェンティ・ワン

義援金・助成金でご協力下さった方々

鈴木隆志(歌謡スポット編集社)	51,699円
特定非営利活動法人 ゆめ風基金	100,000円
医療法人社団 神戸クリニック/神奈川アイクリニック	
	100,000円
医療法人社団 四谷見附クリニック	100,000円
医療法人社団 ソルジェンテ タカナシクリニック新宿	
	100,000円
古畑 悦子 金子 美砂子 須崎 京子	
西村 典之	15,733円

支援物資でご協力下さった方々

大島 洋一...	LEDベスト	4着
櫛 玲子...	白杖	4本
	反射リストバンド	34本
	反射手袋	2個
	反射タスキ	2本
笹倉玄照堂...	ライト付帽子	10個
野河特許事務所...	防護服	3着

被災者受け入れでご協力下さった方々

竹田 たか子・鷹野 恵一...シンガポール人宿泊 2名

ボランティア募集

現在のボランティア活動内容

1. 電話やインターネットによる調査、情報収集・データ化
2. 安否確認用データ作成
3. 広報資料の作成
4. 新聞クリッピング作業・展示更新

(問い合わせ)

活動場所は、インタッチ事務所。

〒530-0057

大阪市北区曾根崎1-3-15

JBS日本福祉放送曾根崎研修所1F

06-6311-1735~38

intouch@jbs.or.jp

ホームページへどうぞ

「インタッチ・レポート」のPDF、テキストをHPにアップ。また、生放送での新聞音訳番組や震災に関する情報も放送中。視覚障害被災者の安否情報など、JBS日本福祉放送まで。

ホームページ <http://www.jbs.or.jp>

電話 06-4801-7400

ファックス 06-4801-7401

編集メモ

3・11から、早半月。自衛隊と米軍の共同作業で被災者の捜索が今ようやく始まる所も。今回の災害の巨大さをあらためて感じる。私達は本当に微力ですが、視覚障害被災者の支援を続けます。第二次調査隊も間もなく出発します。